

続・ふるさと くちばし話

芳志戸八景の絵馬①



▲芳志戸八景の絵馬(芳志戸・星宮神社)

芳志戸の星宮神社には、芳志戸村の代表的な八つの風景を詩歌に詠んだ絵馬(横長四角の扁額)が保存されている。俗に芳志戸八景の絵馬と呼ばれている。

この絵馬は、芳志戸村にあった岡田塾の塾主岡田英陸が芳志戸村の景色を選び、漢詩と和歌に詠んだものを、塾生8人が筆写し、明治11年(1878)、鎮守の星宮神社に奉納したものである。絵馬には、①鎮守社②五行春水③秋場蛭④般若寺旧跡⑤立街道逆木⑥惣郷地水鶏⑦手彦子鯉⑧学校眺望の八景が表現されている。

第11回

八景を詠んだ岡田英陸は、芳志戸秋場で天保末から明治期にかけて私塾岡田塾をひらいていた。岡田は文化8年(1811)11月、祖母井村の横堀千右衛門の4番目の子として生まれ、芳志戸村の岡田与左衛門の養子となった。与左衛門の娘と結婚し、家督を継ぎ農業を営んだ。与左衛門を襲名し、英陸と号した。若いときに江戸へ出て10年にわたり遊学し、漢籍を学んでいる。明治18年(1885)7月7日、77歳で没している。これから4回にわたり芳志戸八景の内容を紹介する。

編集後記

□新年早々に風邪をひきました。正月に不摂生をしていた訳ではなく、子どもの風邪が遅れてうつったようです。

□39度弱まで上がった熱と喉の腫れ、薬を飲みながら4日ほど寝込んでしまいました。その後喉の痛みと腫れは治まらない状態；久しぶりに自分の力ではどうにもならない感じでした。おかしいな？と思ったときの「うがい」と「健康」の大切さを再確認しました。

■予定していた成人式の取材も相方に任せるしかなく、布団の中。毎年元気になる取材で楽しみだったのですが…
(ネタ)



Anas:poecilorhynchacineara (全長60.5cm) (色変りのくちばしを持つカモ類)

他のカモとは異なり雌雄同色で、全国どこでも繁殖を行うので、一年中見ることができるカモ類である。

頭と体全体は黒褐色で羽の外部に淡い縁取りがうろこ状に見える。顔と前首は淡色で、下くちばしの付根から過眼線に黒褐色の線が入っている。くちばしは黒色で先端が黄色い。

餌はイネ科植物の種子や地下茎などを好んで食べる。田植え直後の水田に飛来して植えた苗を掘り起こして、根元の種子を食べたり、着水するときに苗を踏みつぶすので農家の人には嫌がられる。この対策にはあまり水を張らないことである。

繁殖はやや水辺より離れた茂った灌木の根元で4~12個を抱卵して、ふ化後7日位で水辺に移動する。

- 編集 芳賀町広報広聴委員会 ☎028(677)6032 ✉kouhou@town.haga.tochigi.jp
- 発行 芳賀町企画課 栃木県芳賀郡芳賀町大字祖母井1020番地
- 芳賀町ホームページアドレス <http://www.town.haga.tochigi.jp>
- 苦情専用フリーダイヤル ☎0120(753)898